課

子ども・子育て支援センター(保育所、児童館・子育て支援施設)

I. 設計条件

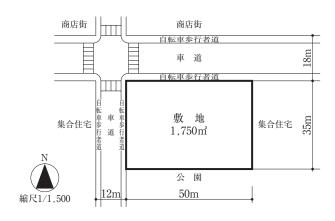
この課題は、ある地方都市の市街地において、「保育所部門」と「児童館・子育て 支援施設部門」とからなる地域の子育て支援の拠点施設を計画するものである。本 施設は、地域住民と子供を持つ親同士の交流の場として、明るく開放的な空間と なるように計画する。

1. 敷地及び周辺条件

(1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。

設計課題

- (2) 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道 の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ペい率の 限度は70%(特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の 限度は300%である。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は、一様な地層構成で、地表から深さ15mまでは、N値5~15の砂質 シルト層、細砂層、粘土層であり、20m以深には、一様にN値50の厚さ10 m以上の砂礫層がある。なお、液状化のおそれはないものとする。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- (1) 構造、階数等
- 構造種別は自由とし、地下1階、地上3階建の1棟の建築物とする。
- 床面積の合計 地下1階を除く床面積の合計は、2,000㎡以上、2,400㎡以下とする。 この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外 階段、屋外テラス等は、床面積に算入しないものとする。

要求室

下表の室は、すべて計画する。

部門		等 記 事 項	床	面積	
部門 室 名 特 記 事 項 床面積 ・保育所部門と児童館・子育て支援施設部門の利用時間は、異なるものとする。					
・防犯に配慮した計画とする。					
・本施設はエントランスホールを除き、裸足又は上履きで利用する計画とする。					
保育所	受付ホール(1)	・共用エントランスホールからアクセスする。・下足箱及びベビーカー置場を設ける。	適	宜	
	乳 児 室 ほふく室	・0歳児を対象とし、沐浴室、調乳室を設ける。 ・主に1歳児を対象とする。	, III	.Н.	
	保 育 室(1)	・2~3歳の幼児を対象とする。	約	60m²	
	保育室(2)	・4~5歳の幼児を対象とする。	約	60m²	
	幼児用便所	・幼児用シャワー室を設ける。	適	宜	
所部門	遊戲室	・ステージを設ける。	約	80 m²	
門	調理室		適	宜	
	,,,	・受付を設ける。	, . <u></u>		
	保育所事務室	・ 4 人分の事務スペースを設ける。	約 50㎡		
		・休憩スペースを設ける。	7.3 00111	00111	
	医 務 室		適	宜	
		・共用エントランスホールからアクセスする。			
	受付ホール(2)	・下足箱及びベビーカー置場を設ける。	適	宜	
	プレイルーム(1)	・無柱空間とし、天井高は6m以上とする。	約160㎡		
		・子どもが運動等を行うスペースとする。		60 m²	
		・屋上テラスとの動線に配慮する。			
	→°1 / 11 / (0)	・子どもが運動等を行うスペースとする。	<i>6</i> L 1	00 2	
児	プレイルーム(2)	・屋上テラスとの動線に配慮する。	秋月1	00 m²	
童		・育児講座及びサークル活動に利用する。	適		
館	育児セミナー室	・可動間仕切りにより2室に分割して個別に利用			
•		(各20人程度)できるようにする。		宜.	
子会	和 室 (1)	・24畳とし、押入れ、水屋を設ける。			
月て	和 室 (2)	・12畳とし、押入れを設ける。	1		
支	加ルゴエウ	・工作室及び音楽室の2室を設ける。	=1 74.	100 2	
子育て支援施設部	創作活動室	・それぞれに準備室を設ける。	計が	100 m²	
他設		・開架式とする。			
部	図 書 室	・書架、受付カウンター及び閲覧コーナーを設け	約 80㎡		
門		る。			
	指導員控室		適	宜	
	育児相談室	・2室設ける。	計約	30 m²	
	スタッフルーム	・職員、指導員、ボランティアなどが使用する。			
		・受付を設ける。	適	宜	
	管理事務室	・施設長及び4人分の事務スペースを設ける。			
	更衣・休憩室	・スタッフ用に、男性用、女性用各1室設ける。	1		
	740.1110.11	・風除室を設ける。			
共用・管理部門		・保育所部門と児童館部門の共用とする。			
	エントランス	・子どもや地域住民の作品展示コーナー(約60㎡)	,200	合	
	ホール	を設ける。	適	宜	
		・1階から3階に連続する吹抜け(40m²以上)を			
		設ける。			
	備蓄倉庫	・設置階は、地下1階とする。	約	50 m²	
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、	適	宜	
, ,		給排 水衛生、電気、消火等)、屋外機器置場等			
		を計画する。			
		・設置階は、自由とする。			
・便所、倉庫及びゴミ置場については、適切に計画する。					

・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

3. その他の施設等

- (1) 屋外遊戯場(保育所の幼児の遊び場をいう。)は、次のとおり計画する。
 - ① 屋外遊戯場は、地上に設けるものとし、まとまったスペース(直径7mの円 が1つ以上入るスペースとする。)で250m²以上(ピロティの部分及び上部に 屋根、ひさし等がある部分は算入しない。)とする。
 - ② 保育室との動線に配慮する。
 - ③ 砂場、ぶらんこ、鉄棒、足洗場、公園側の門塀、その他を設置する。
- (2) 屋上テラスを、次のとおり計画する。
 - ① 1階又は2階の屋上に設けるものとし、まとまったスペースで約100㎡を確 保する。
 - ② 児童の屋外運動スペースとして、プレイルーム(1)及びプレイルーム(2)との 動線に配慮する。
- (3) 敷地内の駐車場は、地上に平面駐車とし車椅子使用者用として2台分、サービ ス用として1台分のスペースを設ける。また、来館者用及び職員用の駐車場に ついては、近隣の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (4) 敷地内の駐輪場は、利用者用として40台分を設ける。
- (5) (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 敷地の周辺環境に配慮する。
- ② 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
- ③ 保育所部門、児童館・子育て支援施設部門及び共用・管理部門を適切にゾー ニングし、明快な動線計画とするとともに、災害時の避難等に配慮する。
- ④ パッシブデザインを積極的に取り入れ、採光、通風及び日射の遮蔽に配慮する。 ⑤ 天井等の落下防止対策について適切に計画する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性に 配慮する。
- ② 地盤条件を考慮し、基礎構造を適切に計画する。
- ③ 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
- ④ 耐震性に配慮し、必要に応じて、耐力壁等を設ける。
- ⑤ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、 環境負荷低減に配慮する。
 - ② エレベーターを適切に設ける。

Ⅱ. 要 求 义

答案用紙 I 及び答案用紙 II の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、 黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

F書により、正字の図面を作成し(フリーハンドでもよい) 必要な事項を記しする

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入す					
図面及び縮尺	特 記 事 項				
(1) 1階平面図 兼 配 置 図 1/200	① 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積の計算に必 要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積				
(2) 2 階平面図 1/200	二. 設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース (DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置ホ. 設備計画に応じた設備スペース				
(3) 3階平面図 1/200	へ、断面図の切断位置 ト・要求室の特記事項に記載されている什器等 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ・建築物の出入口 ロ・屋外遊戯場の面積 ハ・駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ニ・通路、植栽等 ホ・地下1階部分(備蓄倉庫及び設備機械室を地下1階に設けた場合には、位置を点線で図示し、床面積を記入する。) ③ 2階及び3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ・居室の最も遠い位置から直通階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ・1階又は2階の屋根、ひさし等となる部分 ハ・屋上テラスの面積				
(4) 断 面 図 1/200	 切断位置は、プレイルーム(1)を含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高並びに1階床高及び主要な室名を記入する。 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。なお、基礎の鉛直方向については、一部省略してもよい。 				

2. 面 積 表(答案用紙 I に記入)

地上1~3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、 その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- (1) 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面 では表せない部分についても記述する。
 - ① 利用者・スタッフ等のアプローチ及び駐車場等の配置について考慮したこと ② 保育所部門の保育室及び児童館・子育て支援施設部門のプレイルームについ て、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - ③ 建築物のパッシブデザインについて、工夫したこと
- (2) 構造計画について、次の①~④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面 では表せない部分についても記述する。
 - ① 上部構造の構造種別、架構形式、スパン割り及び主要な部材の断面寸法につ いて考慮したこと
 - ② 地盤条件を考慮した基礎構造の計画において、配慮したこと
- ③ 無柱空間の構造計画について、工夫したこと ④ プレイルームの計画において、天井の落下防止の対策について考慮したこと
- (3) 設備計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図 面では表せない部分についても記述する。
 - ① プレイルーム(1)において、採用した空調方式、採用した理由及び良好な室 内環境とするための吹出口・吸込口の計画について工夫したこと
 - ② パッシブデザインを取り入れ、自然採光の促進、日射遮蔽及び空調エネルギ ーの削減について、工夫したこと(断面図等において補足してもよい)

